

# 2025 日本万国博覧会誘致委員会 2018 年度事業計画

## I. 誘致獲得に向けた取組み

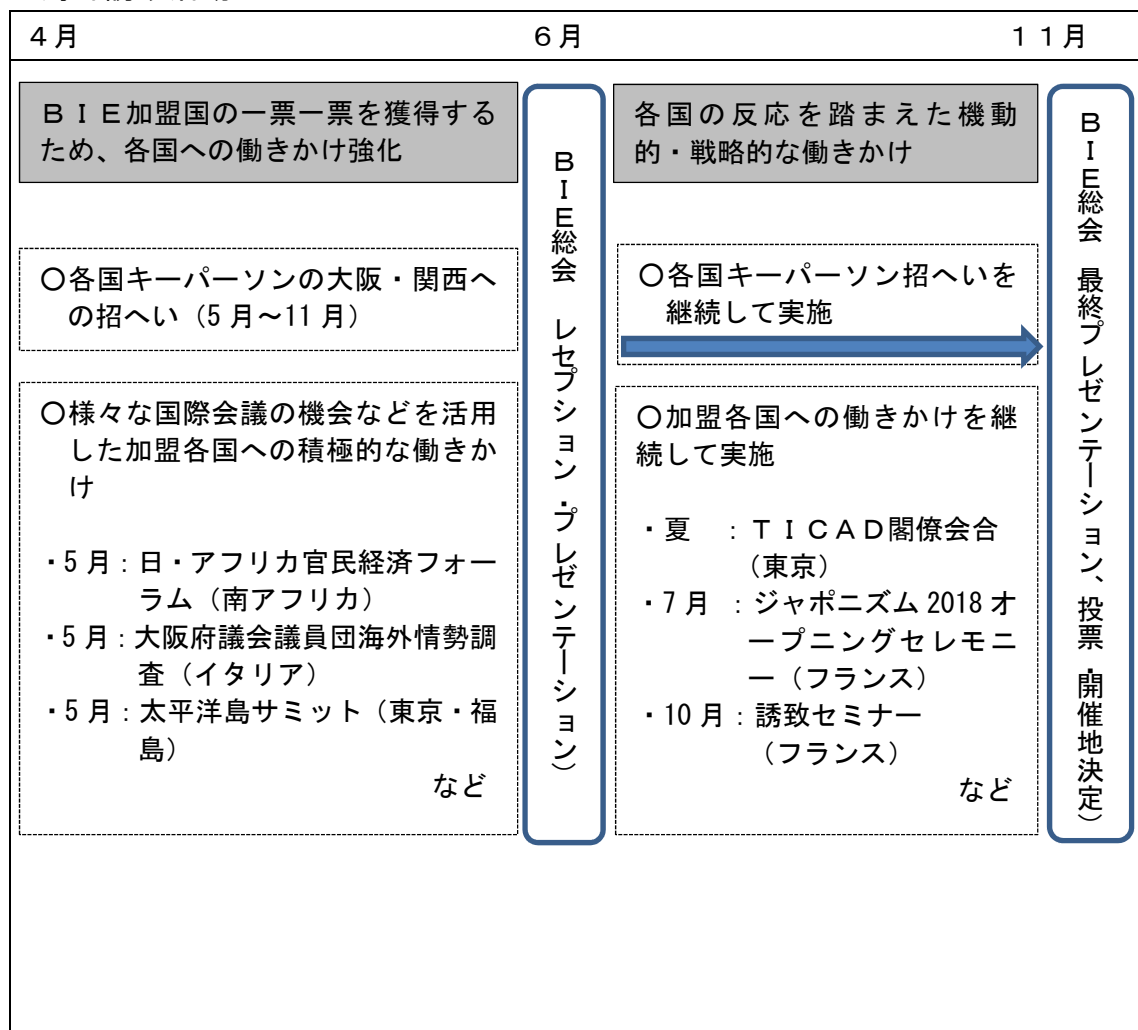
### 獲得目標

○2025 年国際博覧会の開催を勝ち取る  
 ～2018 年 11 月の BIE 総会での投票において、少なくとも加盟国の過半数の支持を得る～

### 基本方針

○2017 年度における誘致活動の到達点を踏まえたうえで、国や経済界、自治体それぞれの強みを活かしながら役割分担し、連携を強化する。  
 ○他の立候補国や B I E 加盟国の情勢等を見極めながら、国と連携し、機動的・戦略的に誘致活動を展開する。  
 ○加盟国の過半数の支持獲得に向け、他国を圧倒する機運醸成を図るとともに、来日する加盟国のキーパーソン等に働きかけを行う。

### ■海外誘致活動



## ■国内機運醸成

他国を圧倒する国内機運を醸成するために、開催地決定まで機運を持続させるとともに、誘致決定後も見据え、万博の開催意義や理念の浸透を図る。  
(前年度の署名活動のような集中的な取組みは実施しないものの、機運が持続的に醸成されるよう、シンボリックイベントや誘致決定後を見据えた取組みに注力)

### 【具体的取組み】

- 海外キーパーソンが来日時にご利用する空港等での広告等によるPR
- 全都道府県議会、全国知事会、全国都道府県議会議長会等における万博誘致決議の獲得
- 署名活動など賛同者数の拡大
- メディア媒体を活用した情報発信
- 万博の意義や理念を国内外に積極的に発信するためホームページの充実
- 節目での効果性を踏まえたイベント
  - ・「未来社会デザイン会議 パート2」(5月)  
～「人類社会の課題を解決する場」である万国博覧会の誘致を契機に、未来社会の担い手である若者が、自社のリソースはもちろん、他社との連携も含めて、どのように課題解決をしていくのか、ビジョンを描く場～
  - ・「SUCCESS-OSAKA Future Design」(6月)  
～留学生など様々なセクターが、いのち輝く未来社会やSDGsの達成などについて話し合うプラットフォーム～
  - ・シンボリックイベントの開催(大阪・東京)(夏頃) など

## II. 誘致決定を見据えた取組み

2025年国際博覧会の開催地として決定された場合を見据え、誘致段階において適切に準備を行う。

- 実施主体となる財団法人の設立準備 など